

VI 運搬工程

作業手順（作業名）	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害
取鍋をクレーンで運搬する	玉掛け時、吊手とフックの間に手をはさんで指を骨折する。
	地切り時に吊り重心が出ていなかったため、ゆれた取鍋で壁との間に身体をはさまれる。
	クレーンの吊りチェーンが切れたため、落下した取鍋の下敷きになる。
	クレーンの吊りチェーンが切れたため、取鍋が落下転倒し、流出した溶湯で火傷を負う。
金型をフォークリフトで運搬する	金型を複数段積み走行していたところ、振動で落下した金型が人に当り負傷する。
地金をクレーンでホッパーに入れる	地金バッグを玉掛け時に、フックの間に手をはさまれて指を骨折する。
	玉外し時の足場が悪かったため、地金の上で転倒し骨折する。
	リフティングマグネットの点検時にリフマグが滑り、地金とリフマグの間に足をはさまれ骨折する。
フォークリフトで製品をトラックに積み込む	トラック運転手が荷台上で積み込み中、手を添えた製品と製品間に手をはさまれ骨折する。
	後方確認せずに急発進したため、周辺にいる関係者に接触し負傷させる。
	製品をヘッドガード以上に高く積み前進で運搬していたところ、前方が見えず関係者に接触し負傷させる。
	スピードを出し過ぎていたため、落下した製品が関係者に当り負傷する。
クレーンで製品をトラックに積み込む	始業点検せずに運転していたところ、整備不良でバッテリーから発煙し、消火しようとして火傷を負う。
	製品の玉掛け時に重心バランスが取れず、地切り時に製品がゆれて製品とトラックのあたりとの間にはさまれ骨折する。